

全国民間保育園経営研究懇談会 講演 2021年6月27日

子どもたちに手渡すべき社会について
私たちになにができるか

佐々木 寛

新潟国際情報大学

自己紹介

佐々木寛 1966年(昭和41年)香川県生まれ。埼玉県(和光市)育ち。

- 政治学者・平和研究者
- 新潟に住んで22年。
- 実際の政治にもちよっと関わる。
- 市民によるエネルギー会社も経営。



「政治」について話す前に——最初の問い

みなさんがこの世界からなくしたいものは何ですか？
(5つ挙げてください)

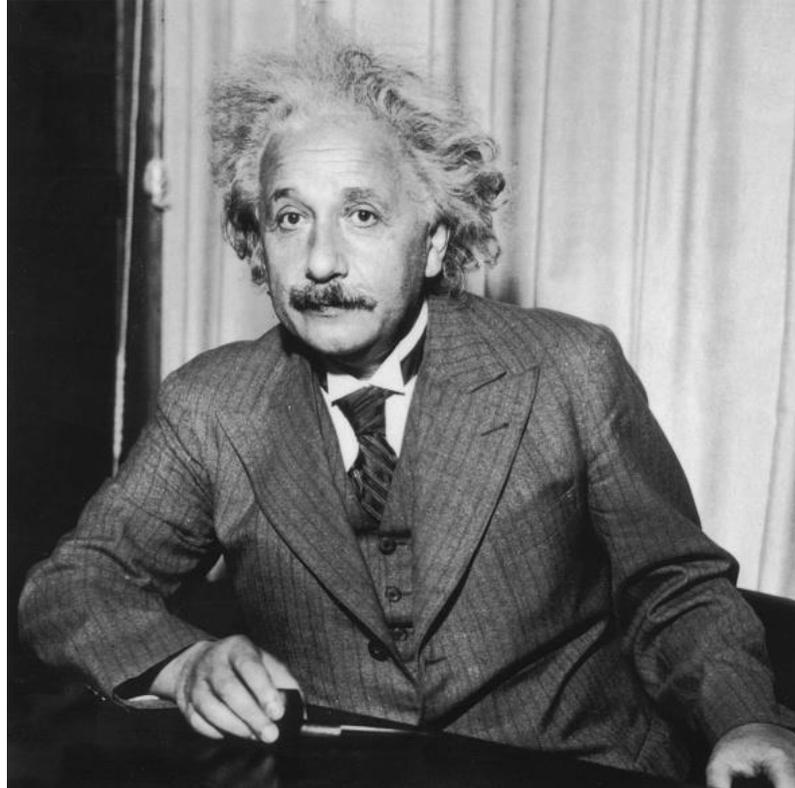
その中であなたに関係あるものはどれですか？

「政治」の前に——私の場合

素朴な違和感、息苦しさ——“時間割”と“試験”

素朴な怒り——世界で戦争につかうお金の大きさ
と飢えで死んでいく子どもたち

中学生時代にあこがれた人

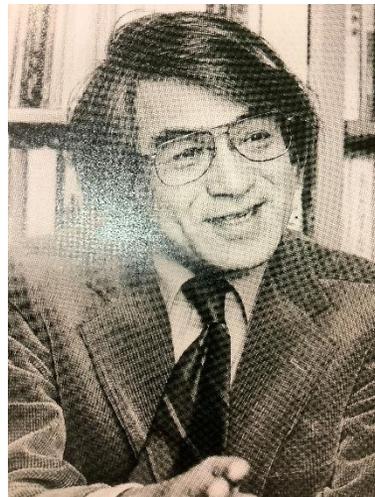


$$E = MC^2$$

大学時代 平和研究 (Peace Studies) との出会い



高畠通敏 先生



高柳先男 先生



ヨハン・ガルトゥング 先生

現代の世界



グローバル化(Globalization)

“ジハード” vs. “マックワールド”
 (“Jihad”) (“Mac World”)

政治的公共性の弱体化
(weakening the political commonality)

分断される世界——排他的アイデンティティ(“Jihad”)



「政治」へのあきらめと無力化。
原子化された不安な個人が作りだす、「承認への欲求」
と「ポピュリズム」。 cf.芥川龍之介『蜘蛛の糸』の世界。

「全体主義」の起源 ハンナ・アーレント



エーリッヒ・フロムの考え



『自由からの逃走』 1941年

- 現代人は、根源的な**孤独感**と**無力感**にとらわれている。
- 資本主義**は<愛>をはじめとする人間の精神そのものも**商品化**する。
- 自分や他者を単に平板な商品として手段化する大衆は、真の自由を恐れ、**権威主義**と**全体主義**の社会をつくりだす。

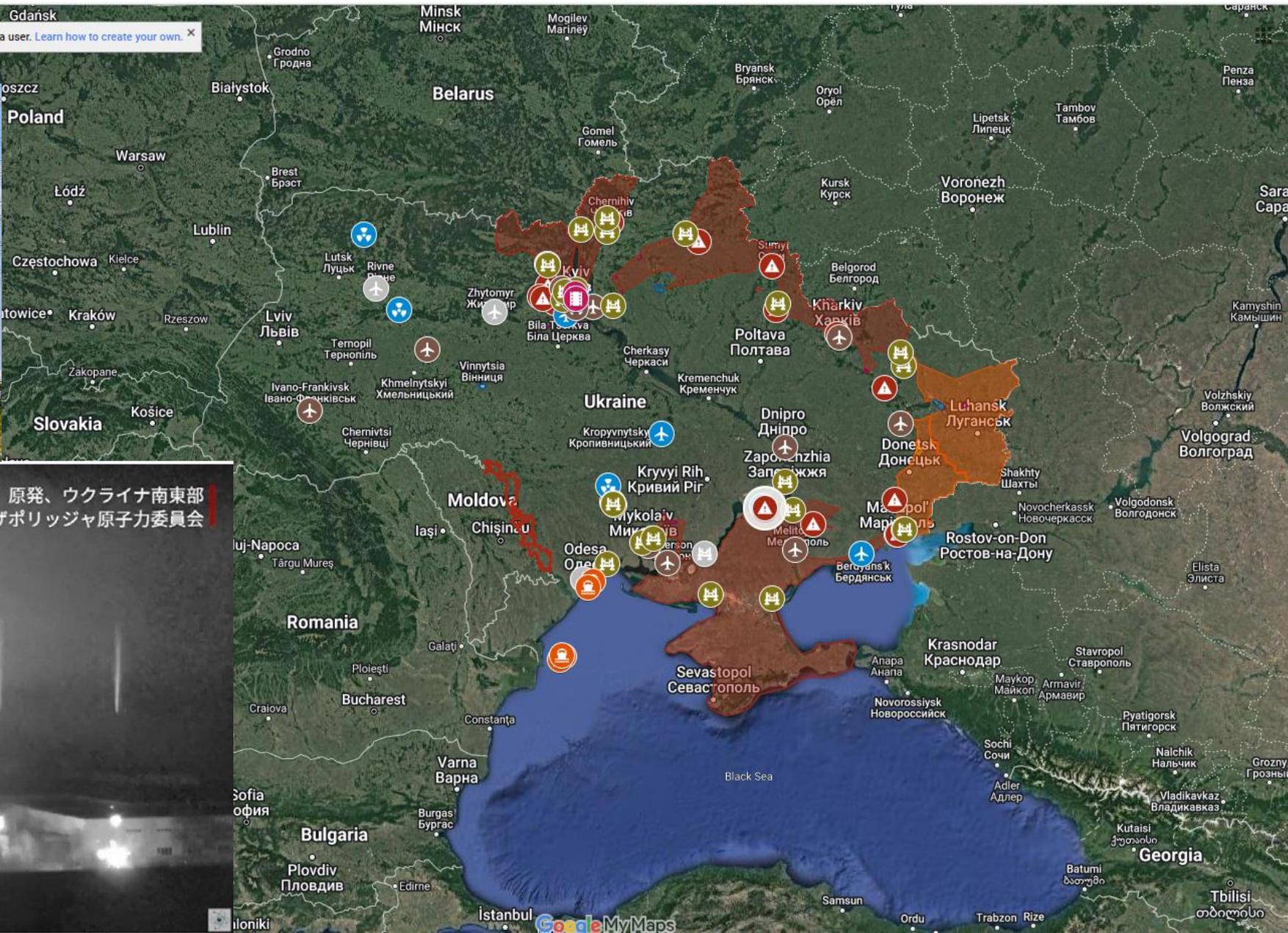
民主主義の危機 (The Crisis of Democracy)



グローバリズム (globalism)
新自由主義 (neo-liberalism)

【戦争の衝撃】ロシアプーチン政権のウクライナ軍事侵攻と原発への攻撃(2022.3.3.)

Ukraine Control Map continuously updated by people at Project Owl OSINT 2022.3.4.



2021年自民党の総裁選劇場ですでに垣間見られた「戦争国家」への道

日米安保の強化と中国敵視政策は共通。

政治の劣化。小粒な、戦争を知らない世代。



- 高市: **新憲法制定 敵基地攻撃**
- 岸田: **敵基地攻撃**
- 河野: **サイバー戦、宣伝戦、ハイブリッド戦
集団的自衛権の行使**



活気づく国内タカ派、ファシズム政党



核シェアリング！
(2月27日@テレビ)



改憲して「武力行使」明記すべき。
(3月2日)



戦略核の運用部隊に「特別警戒」を命じた。
(2月27日)

核保有+改憲 (緊急事態条項)

原発再稼動やむなし。
(2月28日)

自国で武力を持つなら最終兵器が必要になる。
(2月29日)



立憲主義・平和主義の破壊



台中紛争への参加を約束。
言われるがままの兵器爆買い。



2021年度防衛費は、5兆3422億円。7年連続で過去最大を更新。
2022年以降は5年以内で約11兆円(GDP比2%、世界第三位)へ。

沖縄への米軍基地負担の押し付けと民意の黙殺。→「土地利用規制法」

2021年 衆議院選挙の結果(争点にはならなかった憲法)

衆院の改憲勢力の変化

※追加公認含む。無所属は読売新聞のアンケートで改憲賛成と回答した当選者



自民、公明両党と憲法改正に前向きな日本維新の会、国民民主党などの改憲勢力は衆院選で352議席となり、衆院の4分の3を占めた。

岸田政権の意欲。
「党是である憲法改正に向け、精力的に取り組む」

(11月1日)

※宏池会出身だからこそできる、という論理。

世界を駆けめぐる新型コロナウイルス



グレタさんの危機感は正しかった。

新型コロナウイルス蔓延の背景

➔ **気候危機**

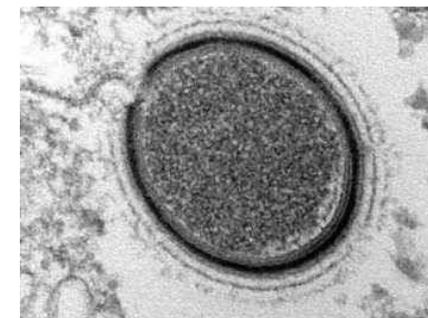
進行する地球温暖化と森林破壊



★さらに、人類が免疫を持たない未知の**ウイルス**の出現。

ex. 気温上昇が進むシベリアの永久凍土では、フランス国立科学研究所などのチームが約3万年前の地層から新種の「**モリウ**ウイルス」を発見。

12時間で1000倍に増殖。



- 「**グローバルなリスク社会**」(Global Risk Society) 【Ulrich Beck】
- 「**新気候体制**」(New Climatic Regime) 【Bruno Latour】
- 「**人新世**」(Anthropocene) 【Paul Crutzen】
- 「**惑星限界**」(Planetary Boundary) 【Johan Rockström】 ...

➔ **文明論的危機** (人間の技術文明によって人間自らが危機に陥ること)

危機としての日本 経済の劣化 失われた30年

- 一人あたりGDP(2020年) **23位**。長期低落。
- 一人あたり労働生産性(2020年) OECD37か国中**26位**。
- 平均年収(購買力平価ベース 2019年) **24位**。(cf. 韓国19位)



- 相対的貧困率 日米欧主要7か国中、米国に次いで**2番目に高い**比率。
- GDP比で世界一の**借金大国**(**1300兆円**。GDP比237%)。
- 競争力63か国中**34位**。過去最低。(スイスIMD世界競争力ランキング2019)。

しかし、依然として追求するのは、
オリンピック、万博、カジノ、リニアモーターカー、高速道路、原発という**オヤジたちの夢**。

“Fake Politics”（ポスト真実の政治） 例：“粉飾国家” 日本

● 厚生労働省の「毎月勤労統計」不正調査問題

総務省は、政府が56ある基幹統計が適正に調査されているかを点検・発表したが、56中22の基幹統計に問題があることを明らかにした。

● 安倍政権における“粉飾”の常態化

（cf. 政治における「嘘」の問題）

イラク自衛隊日報隠蔽、財務省の森友公文書改ざん、障がい者雇用の水増し、法務省の技能実習生資料改ざん...

● 国家そのもののメルトダウン

統計 (statistics) の語源は、国家 (state)。

+ 「SNSは情報の喫煙」「ポスト真実の温床」【マルクス・ガブリエル】

東日本大震災(2011年3月11日) 「**第二の敗戦**」



あれから11年。いったい何が変わったのか...

甦る、戦時中の「**日本精神**」——“脅威”は内側に。

東電刑事裁判、新型コロナウイルス対策、イージス艦...

「**無責任の体系**」

丸山眞男



+

「**非科学性**」「**非道義性**」

矢内原忠雄



オヤジ臭い日本社会

ジェンダーギャップ指数2021

#

120位 / 156カ国

経済

117位

政治

147位

教育

92位

医療

65位

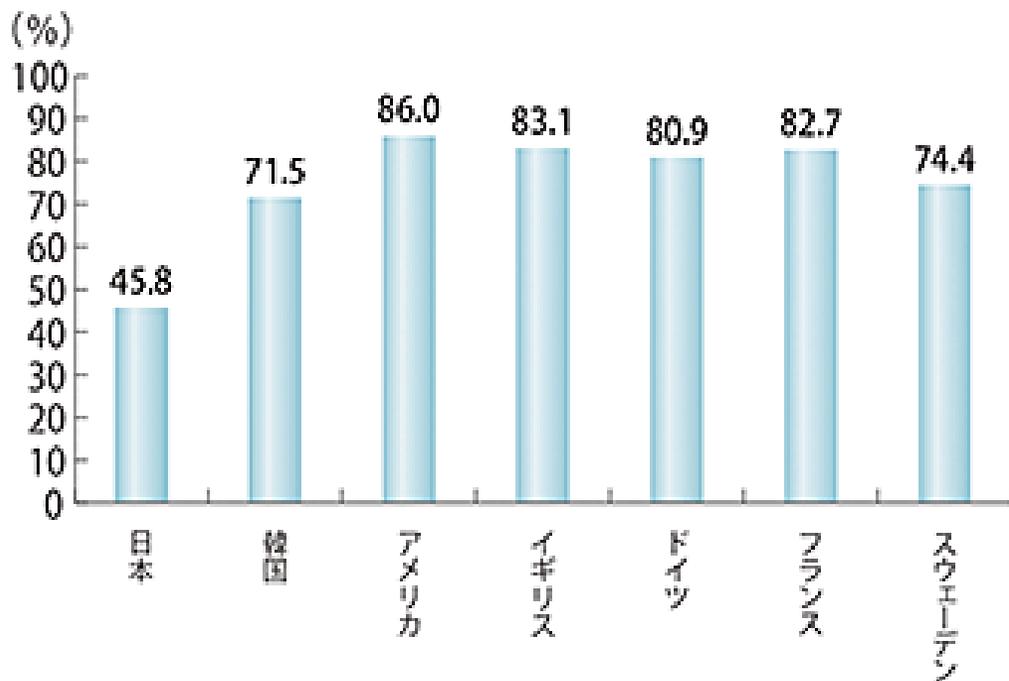
HUFFPOST | グローバルジェンダーギャップレポート2021よりハフポスト日本版が作成

※ このオヤジ中心社会こそ、日本の危機の元凶！

危機としての日本 教育の失敗と若者の絶望

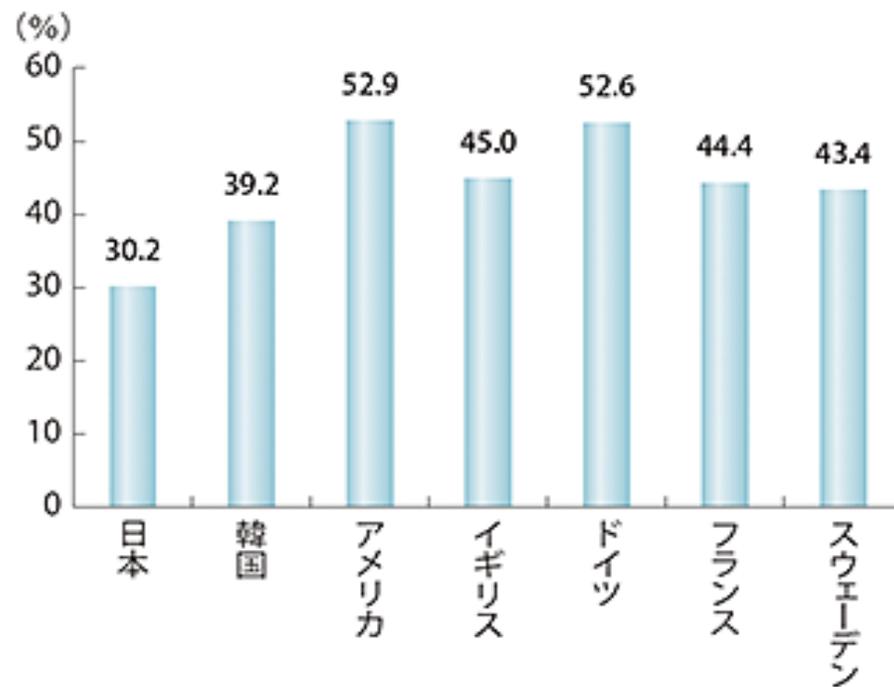
内閣府調査 2014年

図表1 自分自身に満足している



(注) 「次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「私は、自分自身に満足している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表7 社会現象が変えられるかもしれない



(注) 「次のような意見について、あなたはどのように考えますか。」との問いに対し、「私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

しかし…。

●危機(Crisis)を危機(Crisis)として正しく認識できれば、それはチャンスとなる。

●守られるべきは、「現実主義(realism)」であるということ。

●覚醒の契機としての、「文明災」。
(「チェルノブイリ以前」と「チェルノブイリ以後」)
(「フクシマ以前」と「フクシマ以後」)



新型コロナ危機がもたらしたもの



- ①Life(生命)における平等と連帯
- ②Colonialism(植民地主義)の見直し



We can do it !
「政治は生活」という視点。
——「政治」はつくるもの。

安保法制強行採決(2015年9月17日)



市民連合@新潟 設立 12月



市民連合記者会見(70団体 175名の賛同)2016年1月18日



「新潟の奇跡」のはじまり——2016年2月19日



政策協定



2016年4月27日(出馬会見)



参院選の勝利。(2279票差)



2016年新潟県知事選

「市民連合」から「新しいリーダーを誕生させる会」へ



驚くほどの街頭の反応(特に女性)



権力にすり寄る政治ではなく、県民に寄り添う知事を！

未来への責任

**権力にすり寄る知事ではなく
県民に寄り添う知事を！**

規制委員会の適合審査が終われば、再稼働には知事同意が必要です。新しい若きリーダー（医師・弁護士）は、「福島原発事故の検証・総括なしに再稼働の議論はできない」という泉田知事の路線を引き継ぎ、再稼働に同意しません。

柏崎刈羽原発は福島第一と同じ沸騰水型で、世界最大の集中立地、活断層が指摘され、大量の地下水流入も明らかになっています。猛暑だったこの夏も東京の電気は足りており、柏崎刈羽原発を再稼働する必要はありません。

自民党・公明党推薦の元長岡市長は、「県民の安全確保を最優先」などと抽象的に述べるもの、「再稼働に同意できない」とは語りません。官邸、与党、電力資本などの「原子カムフラ」にかつがれているからです。

東京へ電気を送る世界最大の柏崎刈羽原発の
再稼働に同意しません！

医師
弁護士

“世代間デモクラシー”
の訴え

約6万票の差をつけて勝利。

新知事に米山氏

【米山氏略歴】医師、弁護士、民進党衆院議員、魚沼市、澁高、東大医学部卒、東大大学院5区総支部長、ハーバード大付属総院単位取得退学、衆院選、参院選に自民党病院研究員、放射線医学総合研究所職、党、日本維新の会から計4回出馬



知事選で初当選し万歳する米山隆一氏(中央右) = 16日午後9時20分ごろ、新潟市中央区銀1の選挙事務所

新知事の誕生は12年ぶり、本県初の野党系となった。共産党の推薦を受けた知事も初。森氏を推した自民党は県議会の約3分の2を占めており、原発再稼働問題をはじめ、人口減少、経済活性化といった課題が山積する中、米山氏がどう円滑に県政運営を進められるかが今後の焦点となる。泉田裕彦知事が4選出馬を突如取りやめ、新人4人の争いとなった今知事選。米山氏は野党3党のほか市民団体などが支援した。

任期満了に伴う第20回県知事選は16日投票開票され、無所属新人で医師の米山隆一氏(67)が、公明推薦に打ち勝ち、初当選した。米山氏は東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に否定的な考えを前面に打ち出し、反対の民意が示された形。国が進める再稼働が困難になる可能性がある。

森氏と6万票差

柏崎再稼働に

2016年(平成28年) 10月17日 月曜日

新潟日報

文化の記憶
「貧乏な詩人よ働かう! 毛虫は休なく 苦勞して 豊麗な蝶になる」
冒頭に「働く事は金持をつくる」。自身を重ね合わせ、訳したのかも。「貧乏な詩人よ働かう!」に実感がこもる。アポリネールの翻訳詩「毛虫」。

10月22日(土) 祭 23日(日) ノーアクション 同時開催
新潟経営大学
新潟市西区善久772-2

- ### 知事選関連
- 2 与党敗北 政権に激震
 - 3 無党派・民進票取り込む
 - 4 再稼働 厳しい民意
 - 5 「新」い県政の一角に

これまでのことはコレに書いてあります。



“〈凡人のオプティミズム〉と
〈方法的な模索〉”

(高畠通敏)



**「新潟の奇跡」の立役者が
明かす、〈市民+野党〉の
勝利のメソッド**

「観客民主主義」を超え、この国の政治を
再生するために——市民が身につけるべき
「政治の技法」を実体験から語る！

特別
座談会 政治学者
山口二郎さん × 市民連合@新潟

大月書店 定価 [本体 1,600 円+税]

2017年衆議院選挙 市民+オール野党(10月7日@長岡)



2017年10月10日 西村ちなみ候補 第一声



どの候補も「希望の党」からは出馬せず。

4勝2敗！

1区



2区



3区

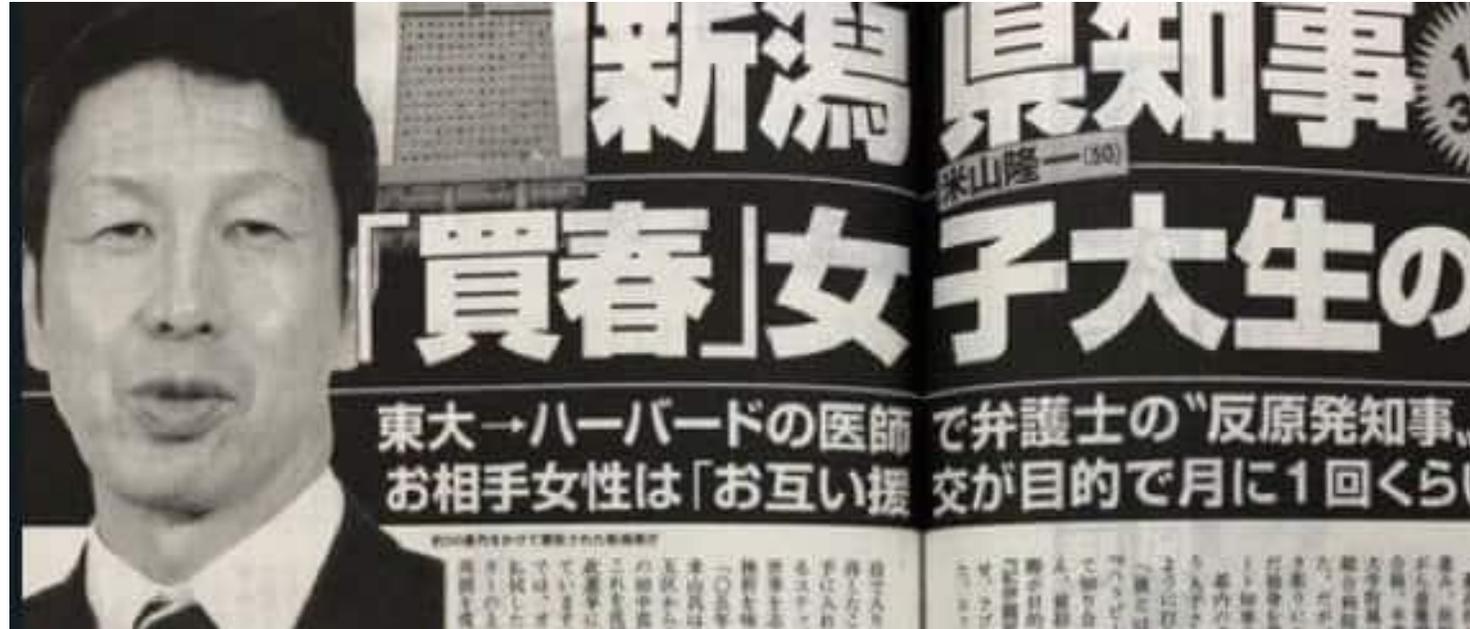


4区



3度目の勝利。

米山知事辞任——驚くほど準備が早かった相手陣営



- 市民による政治家監視の限界
- 政治的決断の困難
- 国家権力の影

『週刊 金曜日』(2019年5月17日号)の取材。

数々起こる不思議な出来事...

【特集】公安警察の間

新潟知事選挙で尾行や逮捕

原発反対派への圧力か

佐々木寛

米山隆一前知事の辞職に伴う昨年6月の新潟県知事選挙で、異様な体験をしました。私は当時、野党統一候補の池田千賀子さんの選挙戦略を考えるブレンとして活動していましたが、生まれて初めて何者かに尾行されたのです。

私自身、気づいていない時期もあったかもしれませんが、選挙が告された5月24日を前後し、投票日の6月10日までの選挙期間中を含めた約1カ月間、車で移動すると、別の車がずつと付いてきたのです。同じ車種、同じナンバーの車でした。

おかしいなと思い、走行中に車を止めると相手も止まり、発進すると同じように発進します。しかも、どうやら2〜3台が尾行していたようで、途中でまいても、今度は別の車が尾行してきました。車を運転していたのは、若い男性でした。

車を降りて歩くと、今度はやはり明らかに家の近くまで誰かがつけてくるのです。一度、道路を歩いていた際、つけられているなど思い、突然振り返って逆走し、相手に近づいてみたことがありました。すると、尾行していた相手は驚いた様子で、気まずそうにその場で体操を始めたのです。年配の男性でしたが、ほかにも複数の

経験でした。

私は「市民連合(新潟)の共同代表としてこれまで米山前知事を誕生させた知事選挙のみならず、国政選挙や県議選挙で野党統一候補を擁立する活動を続け、私自身候補者と目された経験もあります。そのため、池田候補と対立する側が「選挙違反を告げろ」と私を監視しているのかな」とも考えましたが、結局尾行していたのが公安警察など権力組織だったのかどうか、確証を掴むことはできませんでした。

米山前知事も狙われた？

私以外、尾行された選挙関係者の話は特に聞きませんでした。それでも相手は私が尾行に気づいているのを察知していたはずなのに尾行を続けたのは、何か組織的な背景を感じます。しかもこの選挙では、ご存じの通り東京電力の柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が大きな争点となりました。

以前、東京電力の原発を抱えた

京発再稼働反対派候補のブレンが体験



尾行していた不審車両の一台。まいて車から降りて建物に入ると、周辺を探っていた。(中央の車両。提供 佐々木寛)

の原発政策に異を唱えた結果、明らか「国策調査」で政治生命を抹殺されたことがありました。やはり原発が絡んでくると、選挙も「国家権力の影」を感じるようになるのでしょうか。

実際、この選挙では、池田候補を支えた市民の代表格の息子さんが、選挙巨匠前日に突然、かなり以前の容疑で逮捕され、新聞に報じられるという不可解なことも起きました。しかも、選挙が終わるとすぐ不起訴処分になりました。なぜこの時期にずいぶん前の容疑で検挙するのか、権力側の意図を

そもそも、原発再稼働に反対だった米山前知事が辞職したのは、「週刊文春」が女性スキャンダルを暴露したのがきっかけでした。その後私は、ある官邸筋の信頼すべき方から、「あれは内閣情報調査室(内調)からの情報だった」とはつきり伝えられ、驚きました。佐藤元知事のこともあり、「原発絡みになると国家権力はそこまでやるのか」と思いました。

また、私は「新潟県原子力発電所事故に関する検証総括委員会委員」の一人ですが、その関係で国レベルの原発事故調査を担当した研究者の意見をうかがう機会がありました。その方は「この仕事をやるのなら、自分の電話やメールは全部筒抜けになっていると思っただ方がいい」と言われました。やはり、考えている以上に何か大きな力が昨年の選挙でも働いたのかもしれません。市民の基本的な自由が脅かされるような時代を、再び許してはいけないと思います。

聞き手/まの 成瀬実男 編集者

1

市民による大街頭



野党党首勢揃い



2018年県知事選挙 ⇒ 敗北(37,102票差)。

509568票

546670票

「争点隠し」と「抱き着き」戦略

「オール新潟」で、より良い新潟にしませんか？

県民信頼度ナンバーワンの県政を実現する会

はなずみ ひでよ 花角英世 さんと共に実現しよう

昭和33年5月 新潟県佐渡生まれ
昭和52年3月 新潟県立新潟高等学校卒業
昭和57年3月 東京大学法学部卒業
昭和57年4月 運輸省入省(現国土交通省)
平成20年7月 国土交通省総合政策局観光政策課長
平成20年10月 観光庁副課長
平成25年4月 新潟県副知事
平成27年9月 海上保安庁次長(平成30年5月退官)

今すぐ取り組むべき課題は山ほどあります。その中から5つの全力を掲げてみます。

- 原発は3つの検証をしっかりと進め、将来的には脱原発社会に全力
原発については3つの検証(福島原発事故の原因、健康・生活への影響、避難計画)をしっかりと進め、その結果を見極めます。将来的には原発に依存しない社会を目指し、県民の安全・安心を守ります。
- 自助・共助・公助の連携と絆を深めることで地域力を強化し、防災、防災など県民の安心安全に全力
子供はもとよりお年寄りに至るまで、全ての県民の安心のために、自助、共助、公助の連携で皆さんの絆を深め、地域力を高めることで防災、防災、安心な生活の実現に努めます。
- 知事は新潟ブランドの発掘・育成・セールスに全力
新潟には美しい自然、豊かな食文化などたくさんの宝があります。しかしながら現状はそれらが必ずしも生かされていません。知事はこれら新潟ブランドセールスの先頭に立ち、新潟に人を呼び込み、雇用を増やすことに全力を尽します。
- 活力みなぎる新潟の実現に全力
起業・創業に挑戦する人、事業拡大を目指す中小企業、新たに農業に取り組む人、街おこし・地域づくりに取り組む人など新潟でチャレンジする人を応援し、活力みなぎる新潟を目指します。
- 若者、子育て世代、お年寄りなど全ての世代が生き生きとくらせる社会の実現に全力
それぞれの世代の「思いや願い」に丁寧に耳を傾け、声の小さい方々にも寄り添い、一つ一つ丁寧に課題に向かって取り組む県政の実現を目指します。

県民信頼度ナンバーワンの県政を実現する会

雇用と所得アップで活力あふれる新潟県に!!

脱原発の社会をめざします。

新潟県の3つの検証が終わるまで再稼働の議論はしません!
再稼働の是非は、県民に信を問います!

県民最優先 安全・安心第一。

元新潟県副知事
前海上保安庁次長
佐渡生まれ・新潟市育ち

6月10日投票日当日の新聞広告 ⇒

相手候補の徹底した組織選挙と広報戦略



1951年生まれ(67歳)。東京都知事選挙の石原慎太郎、舛添要一、神奈川県知事選挙の黒岩祐治、千葉県知事選挙の森田健作、新潟県知事選挙の泉田裕彦、山口県知事選挙の山本繁太郎、沖縄県知事選挙の仲井眞弘多他、数多くの首長、衆参国会議員等のプランナーを務め、勝率は9割という。

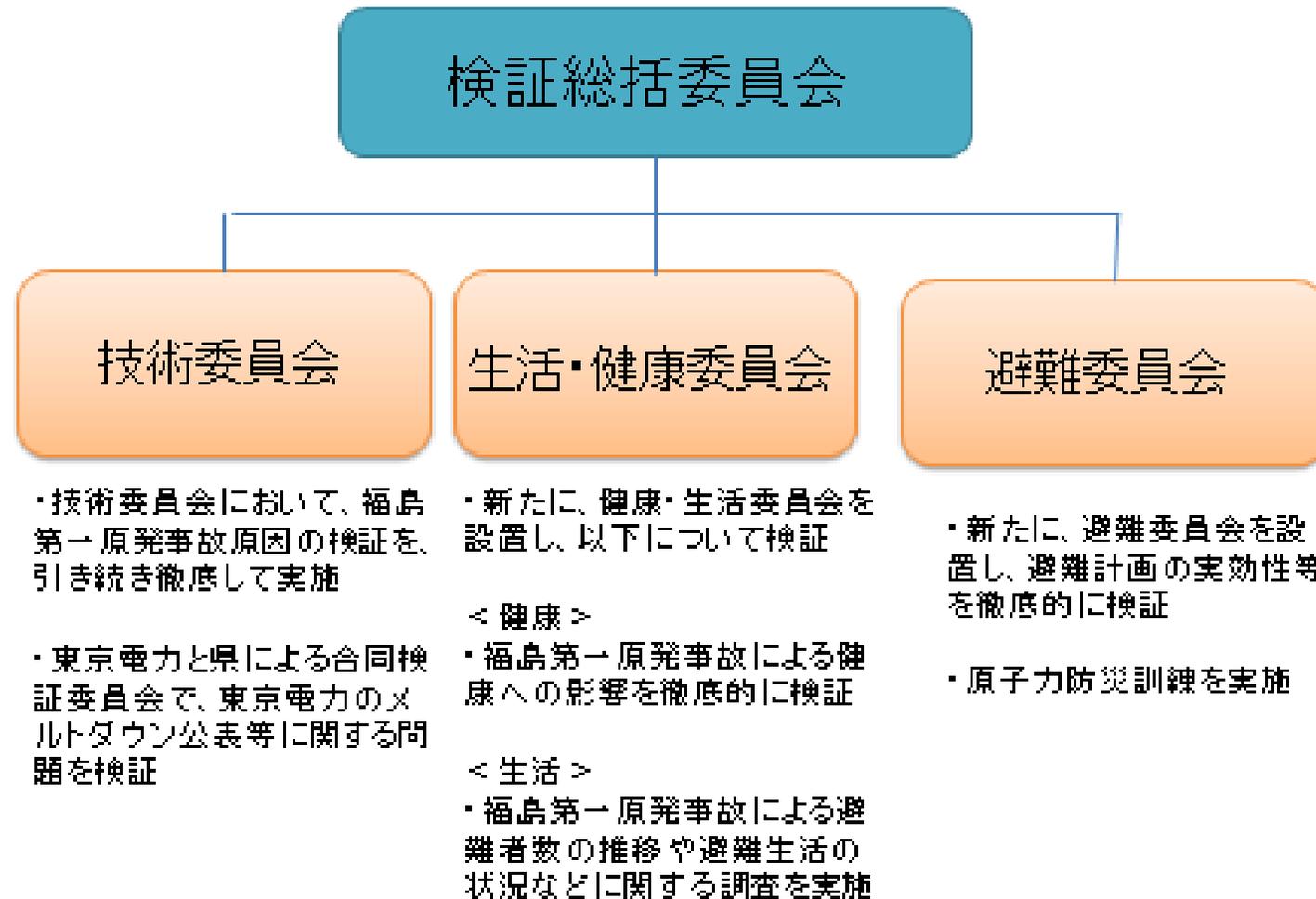
原発廃止！！



安中聡候補 45628票

けれども残った原発検証委員会

<3つの検証体制>



統一地方選 「バランスのとれた県議会を実現する県民の会」 (2019年1月23日)



2019年参院選 市民と野党統一候補 **うち越さくら**さん出馬会見
(2019年5月11日)



翌日の『新潟日報』——連合新潟の事務局長も…。



当選！（521717 対 479050 投票率55.31%）

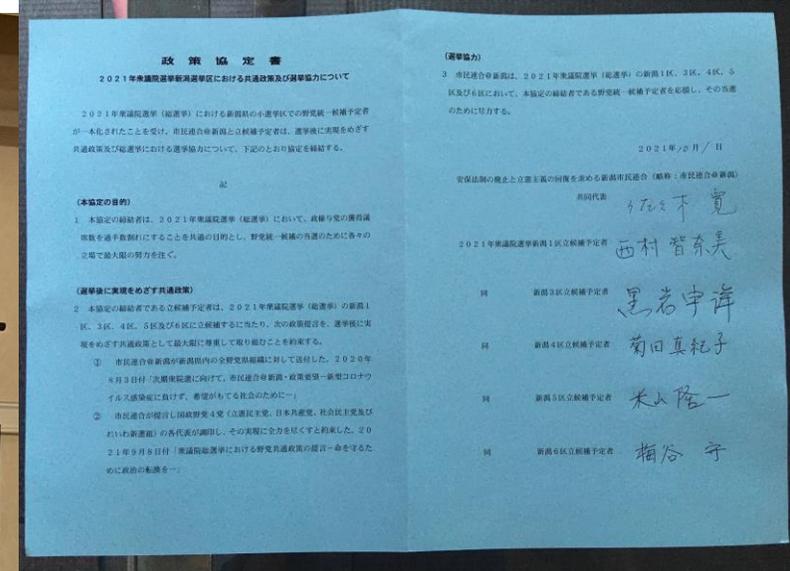


市民連合 よろこびのあいさつ



いつもの全野党候補参加による政策協定

2021年10月1日@長岡



2021年 衆院選新潟選挙区——市民と野党の共闘(新潟モデル)の勝利。

4勝2敗。あえて空気を読まない新潟。

1区



立憲民主党幹事長へ

4区



立憲民主党
新潟県連代表へ

5区



返り咲き

6区



惜敗。 2区 3区

国政選挙、野党共闘4連勝。



しかし…、2022年 新潟県知事選(投開票日 5月29日)完敗。



V.S.

余裕。



自民
公明
連合新潟
農協
医師会
立正佼成会
...

203,845票 vs. 703,694票

現職:花角英世 知事 2期目

2022年 参院選に向けた市民と野党統一の政策協定 6月21日



市民政治塾 2018 — やっぱり学び。

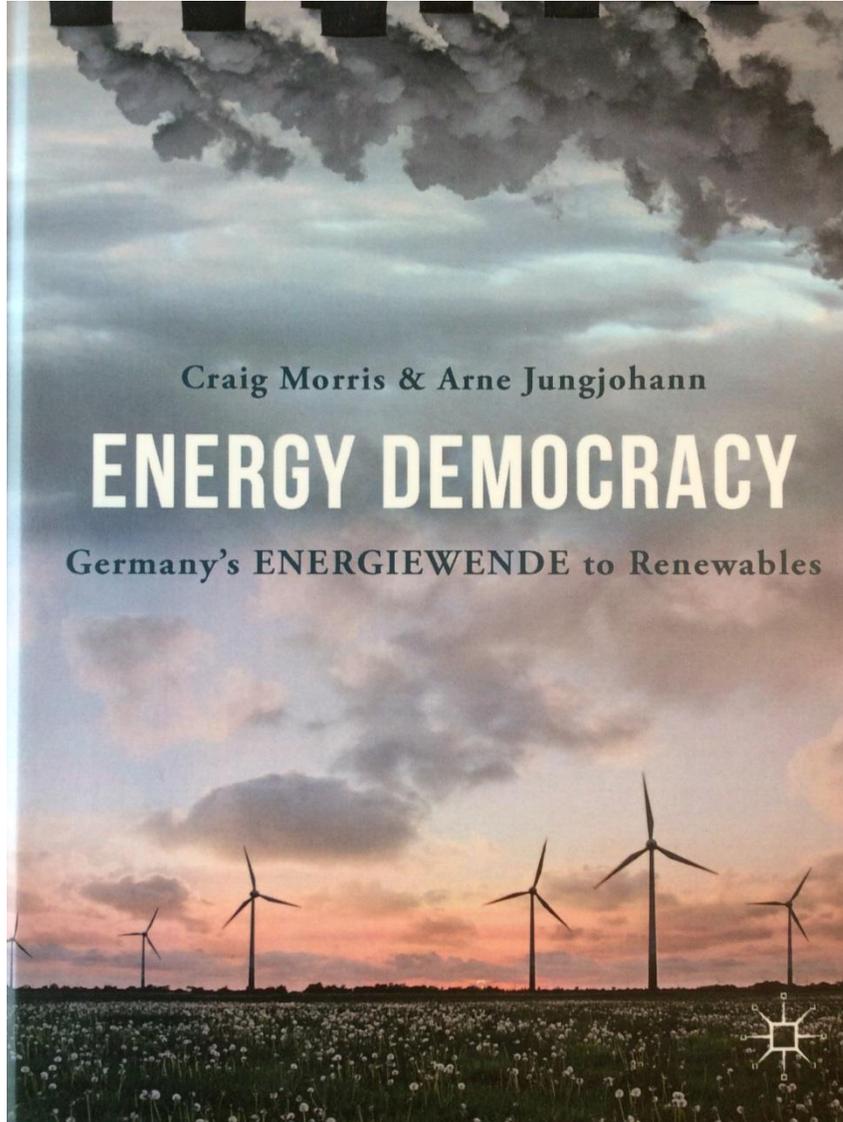


- 自分たちの経験の整理。
- 本当に民主主義を成熟させるものは、市民による“学び”。



We can do it !
「エネルギー・デモクラシー」という視点
——民主主義の下部構造を創りあげる。

“エネルギー・デモクラシー”とは何か

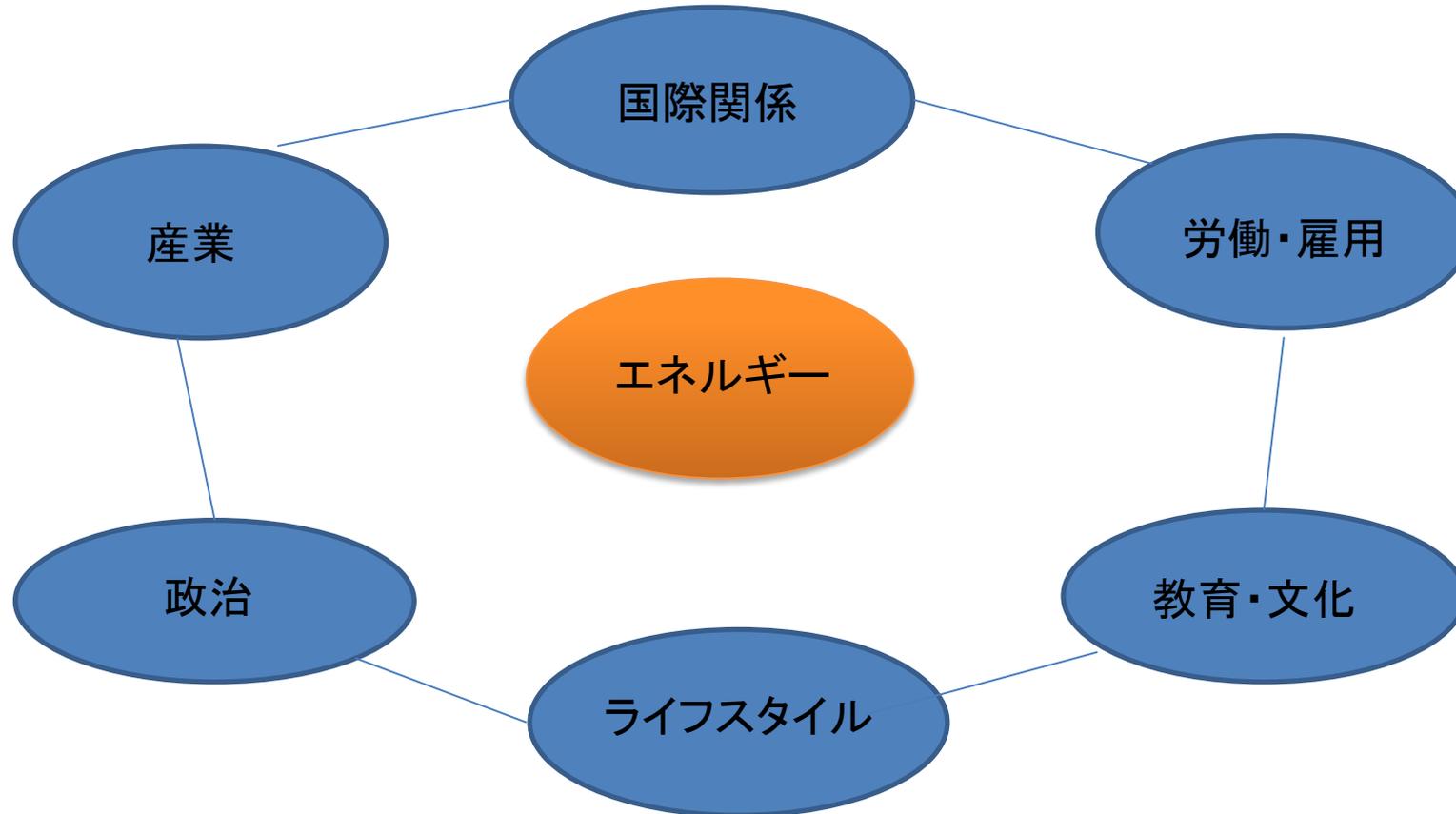


民主主義の深化



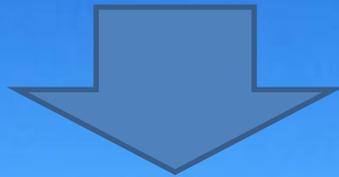
エネルギーの民主化

エネルギーを変えると社会が変わる



国家中心主義(中央集権)の限界:

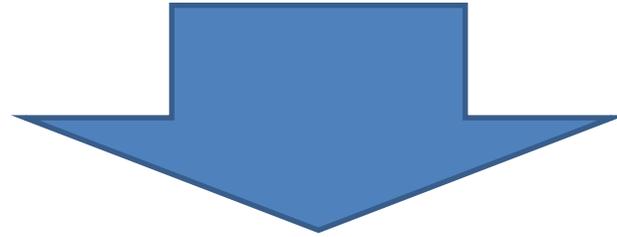
軍事力重視の安全保障政策と
原子力重視のエネルギー政策



生活・生命の安全保障
“安全”も“エネルギー”も<自治>の時代へ

“脱原発型社会”へ向かって

「中央集権・地域分断型社会」



「地域分散・ネットワーク型社会」
(自治)

2018年 沖縄県知事選挙 玉城デニーさん勝利の意味

自立・共生・多様性



※「万国津梁会議」の可能性。
知事公舎にて。

「国家安全保障」は何を守るのか？——「おまかせ安全保障」？

『地方自治体の安全保障』という視点



- 「国家安全保障」
VS.「**民衆の安全保障**」
- 沖繩米軍基地問題と新潟の
原発問題をつなぐ視点

原発は本当は地域に富をもたらさない。



- 原発の経済効果は根拠の乏しい「神話」にすぎない
- 明治時代から新潟県（や福島県）が首都圏の電源地として位置づけられていった経緯の中で「神話」が形成された

コミュニティ・パワーの挑戦

——おらってにいがた市民エネルギー協議会(2014年)——



Niceko Obihiro

Kyotango Toyama

Takarazuki Takayama

Bizen

Hiroshima

Yamaguchi

Obama

Kumamoto Shizuoka Odawara

250 community powers

Shimokawa

Iitate

Minami-Soma

Yamagata

Niigata

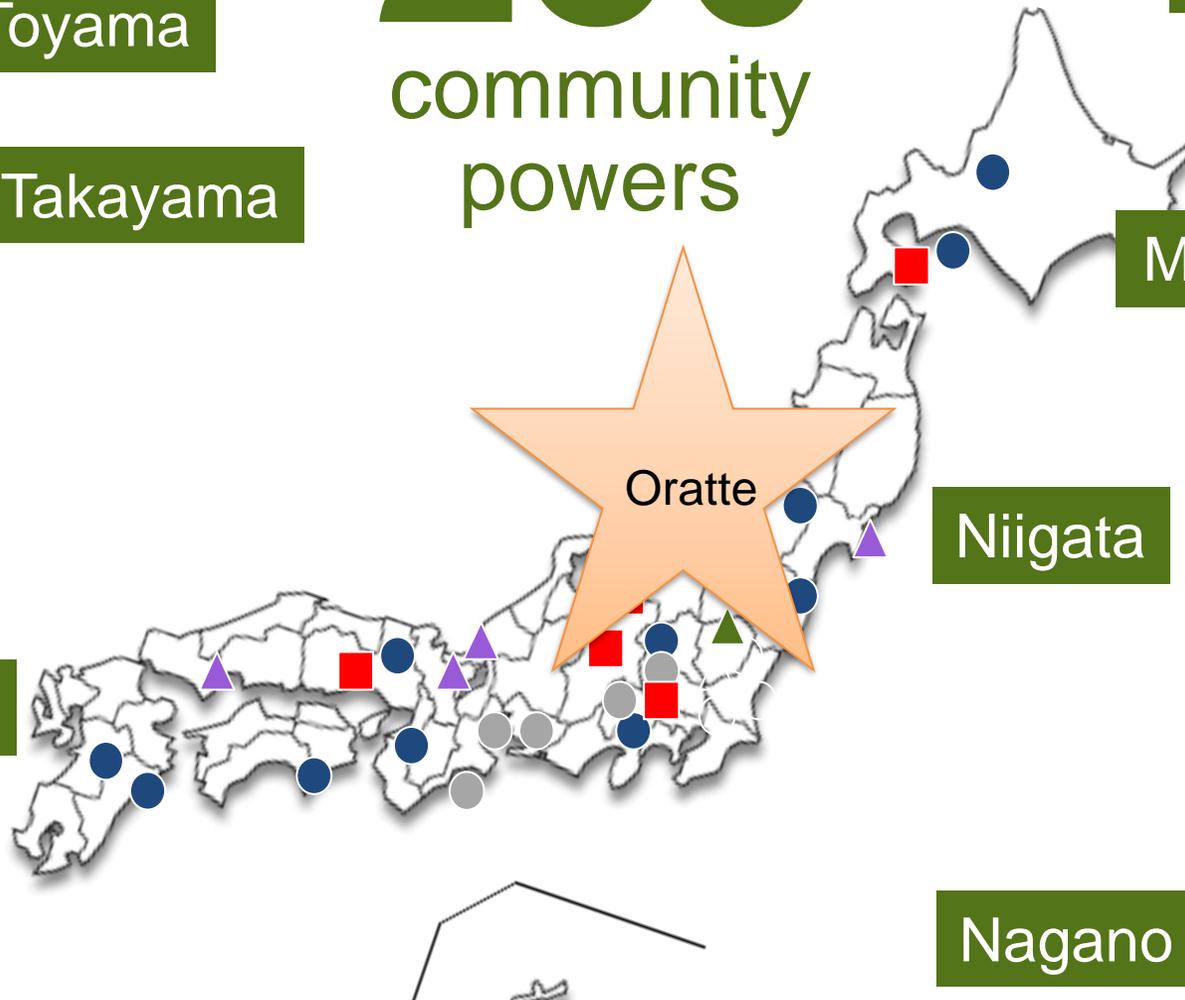
Aizu

Saitama

IIDA city

Nagano

Setagaya



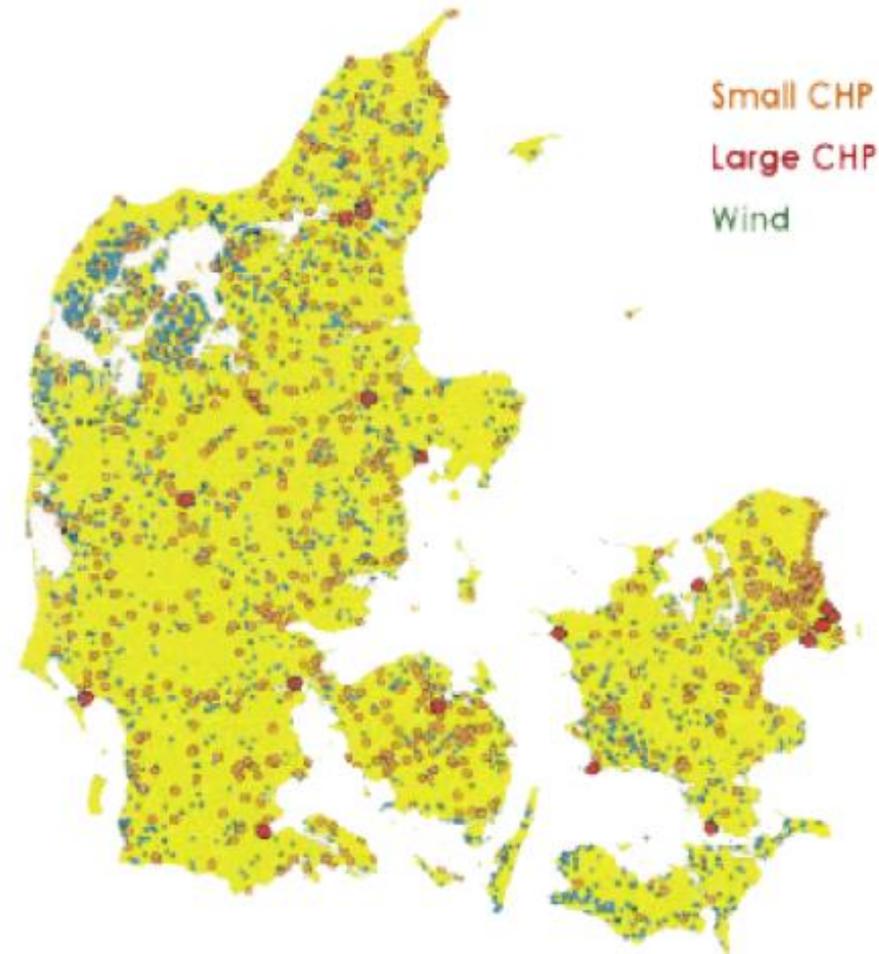
例：デンマークのエネルギー供給の変化

1990年代(大規模火力発電) ⇒ 現在 (風力とコジェネ)

Centralized System of the mid 1980's



More Decentralized System of Today



行政との協力① 新潟市とのパートナーシップ協定調印式



【新潟日報】
2015.8.19 朝刊

2015年8月18日 協定締結
「持続可能な低炭素まちづくり推進のためのパートナーシップ協定」

行政との協力② 村上市とのパートナーシップ協定調印式



2018年3月23日 協定締結
「持続可能な低炭素まちづくり推進のためのパートナーシップ協定」

世界幸福度ナンバーワンの国 デンマークに学ぶ 新潟の新しい社会



 世界幸福度ナンバーワンの国
デンマークに学ぶ、にいがたの新しい未来
 おらっての対談：デンマーク大使 × 新潟県知事
2月14日(火)
15:45~17:30
 会場：新潟自治会館 別館 9F ゆきつばき

今年、デンマークと日本の国交樹立 150 周年に当たります。
 世界幸福度ナンバーワンの国デンマーク(*)は、世界最高水準の教育を誇り、農業国でありながら、自然エネルギー大国、さらには日本の 1.6 倍以上の一人当たり GDP を生み出す産業先進国でもあります。
 にいがたの新しい未来を考えるうえで、デンマークから学ぶことはとても多いと思います。
 このたび、フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国特命全權大使がお越しになるのを機会に、大使のご講演や米山隆一新潟県知事との対談を通じ、明日のにいがたについて市民のみならず、いっしょに考えたいと思います。 (*:国連世界幸福度レポート2016年)


 日本国政府
 日本・デンマーク 百五十年
 国交樹立
 150 年
 JAPAN DENMARK 150 YEARS
 (国交 150 周年記念ロゴマーク)

「デンマークに学ぶ、にいがたの新しい未来」
【第1部】 記念講演
 フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国特命全權大使
【第2部】 対談
 テーマ『自然エネルギー、医療・福祉』など
 スウェーデン デンマーク大使 × 米山新潟県知事

 駐日デンマーク王国特命全權大使
 フレディ・スヴェイネさん

 新潟県知事
 米山隆一さん

- 参加費：一般 500 円 学生無料
- 会場：新潟自治会館別館 9F (新潟市中央区新光町 4 番地 1) コンベンションホール ゆきつばき
※お車でご来場の方は自治会館または周辺の有料駐車場をご利用ください
- 主催：(一社)おらってにいがた市民エネルギー協議会
- 後援：新潟県・デンマーク王国大使館

＜申込み＞ おらってにいがた市民エネルギー協議会 FAX 025-385-6097
 氏名・電話番号を明記してメールまたはFAXにてお申込み下さい。

 QRコードを
ご利用下さい

「おらって」とは新潟の方言で「私たち」という意味です。市民が集まって、話し合いの中から「市民発電所」を20箇所つくりました。未来の世代に向けて今、私たちが出来ることを模索し、実践していきます。 ホームページ www.oratte.org メール info@oratte.org




 新潟自治会館 別館 9F
 新潟市中央区新光町 4 番地 1
 新潟市 県庁
 新潟市 県庁ターミナル
 新潟市 県庁前

風力 cf. 日本の巨大洋上風力をめぐる問題
“ゾーニング”と民主主義

デンマーク サムソ島



地域熱供給事業と民主主義

デンマーク オールボー



ソーラーシェアリング（営農型ソーラー）



日本

ドイツ



ビルで美しく発電——コペンハーゲンインターナショナルスクール





＜自治＞による新しい街づくり

ドイツ フライブルク

地域循環共生圏（日本発の脱炭素化・SDGs構想）

— サイバー空間とフィジカル空間の融合により、地域から人と自然のポテンシャルを引き出す生命系システム —

「自立分散」×「相互連携」×「循環・共生」= 活力あふれる「地域循環共生圏」⇒「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」
 「オーナーシップ」 「ネットワーク」 「サステナブル」 「人間の安全保障、次世代・女性のエンパワメントを基盤に」

⇒ 新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤

人々が健康で活き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることで、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。

「オーナーシップ」と「ネットワーク」
からなる生命系システム社会



FREEING ENERGY



How Innovators Are Using Local-scale SOLAR and BATTERIES to Disrupt the Global Energy Industry from the Outside In

BILL NUSSEY

ビル・ナッシー 『エネルギーを解放する』(2021年)



おらって地域循環共生圏プロジェクト

産学連携観光開発スキーム

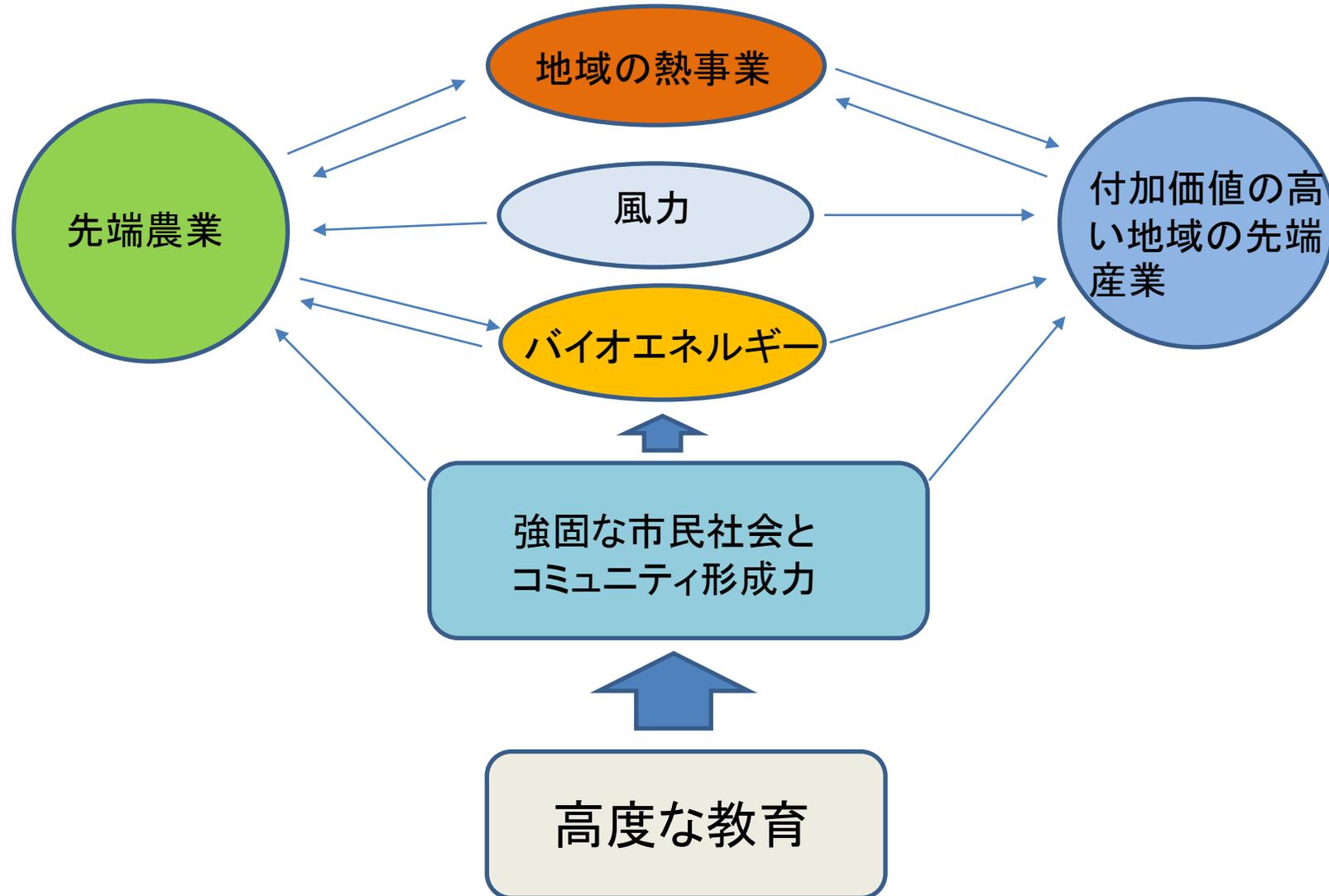
- 通常時のシェアリングに加え産学を結ぶ移動手段として活用。
- シェアリングの需要に連動して、温泉、大学でリーフを相互活用。
 - * 土日祝日大型連休時は温泉で観光用に、平日は教職員学生の移動手段として活用。
 - * eシェアモビステーションは温泉側に設置。



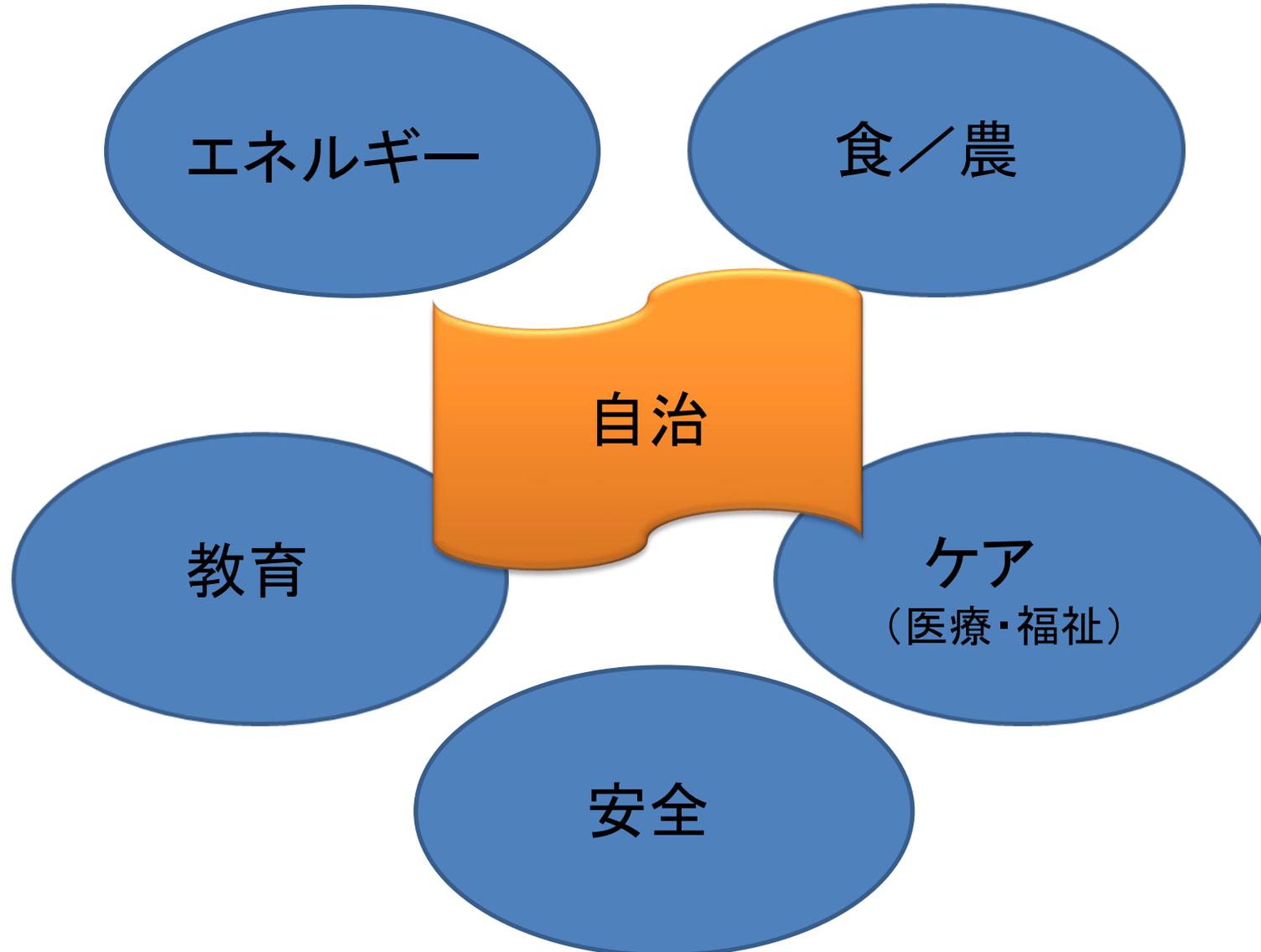
新潟にしかん地域循環共生圏協議会の設立



デンマークに学ぶ新しい社会 (高度な教育に支えられた脱原発型市民社会)



生きる上で必要な5つの要素をできるかぎり地域で自立させる。



地域と地域をつなげる——「水俣・熊本未来基金(つんなう基金)」の試み



「水俣薄原太陽光発電所」(全国ご当地エネルギー協会)と、熊本地震の復興支援として立ち上がった太陽光発電所「グリーン未来ソーラー」(グリーン・市民電力)の売電収益の一部を活用して、未来世代を育てていく。

<https://minamata-fund.org/>

もともと電力事業会社だったチツソ。
公害を前提とする近代文明の矛盾を克服する「新しい文明」は、新しいエネルギーが創りだすということ。

※私は、「基金助成委員会副委員長」。

東アジア 自然エネルギー共同体

(East Asian Renewable Energy Community) の構想

背景と理由

- 東アジアは、核兵器と原発が密集した「核地域」であるということ。
- 未だ権威主義的な要素が強い政府から構成されているということ。
- したがって、エネルギーの民主化と自治の促進は依然として体制自身のさらなる民主化の契機になりうるということ。
- また、政府間の交渉による平和構築には限界があるということ。
- 市民社会の国境をこえた協力関係によって「コスモポリタンな民主主義」の可能性を切り拓くということ。
- ヨーロッパ統合の出発点も、エネルギー協力＝ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)であったということ。

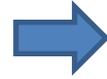
We can do it !

日常から平和を創る

——ファシリテーションと非暴力トレーニング



旧ユーゴ紛争 1990 S



旧ユーゴ紛争 (civil war) の構図

Localizacion de las mayorias etnicas
en la antigua Yugoslavia (1991)

- Albaneses
- Búlgaros
- Croatas
- Húngaros
- Serbios
- Eslovenos
- Musulmanes
- Macedonios
- Montenegrinos
- Sin mayoría definida



立ち上がった女性たち



非暴力トレーニング (Non-Violence Training)

日常から平和をつくりだす。

「文明」とは、何よりもまず、暴力によらない社会。

「教育」による社会改造。

国際交流ファシリテーター事業

2005年より実施。@新潟国際情報大学。
真に子どもたちが主権者となる相互学習のスキル。
cf. パウロ・フレイレ



最後の問い——〈自分〉からはじめる。

みなさんがこの世界からなくしたいものは何ですか？
(5つ挙げてください)

その中であなたに関係あるものはどれですか？

最後に。「私たち民衆は負けない」ということについて。

日本国憲法第97条

この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、**人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果**であつて、これらの権利は、**過去幾多の試練に堪へ**、現在及び将来の国民に対し、**侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。**

ご清聴ありがとうございました。